

「北米社会科教師オンラインプログラム」を開始

—藤崎元駐米大使と意見交換—

2021年6月15日

講師：藤崎 一郎 元駐米大使

経済広報センターは、新型コロナウイルスの影響により中止となった昨年度、今年度の「北米社会科教師招聘プログラム」の参加予定者を対象として、全4回のオンライン・イベントから成るプログラムを開始した。

6月15日の第1回イベントは、オリエンテーションに続き、藤崎一郎元駐米大使を講師に招き、日米・日中・米中関係、環境問題をめぐり意見交換した。

藤崎大使の発案により、冒頭から参加者の質問に答えるかたちで進行。参加者からは、日米関係にとどまらず、ウイグル問題を含めた対中関係や、グリーン・エコノミーといった世界的課題に対する日本の取り組み、日本における新型コロナワクチンの接種状況、東京オリンピック・パラリンピックの開催見通し、さらには尖閣諸島や竹島、日本海呼称問題など、多岐にわたる質問が相次ぎ、日本への関心の高さがうかがえた。

民主党と共和党のどちらの大統領が日本にとって望ましいかといった質問に対して、藤崎大使は、「米国の大統領は他国にとってクリスマスギフトのようなもので、選択も交換もできず、これこそが欲しかった』と答えるべきもの」と述べるなど、時にユーモアも交えつつ丁寧に応答。非常に有意義で和やかな意見交換となった。

同プログラムは、ほかに、オンラインによる企業訪問や学校訪問、教育現場におけるICT活用と産学官連携に関するオンライン・シンポジウムで構成されている。

以 上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。